

維新「一人勝ち」の謎を解く 在阪メディアと維新、吉本の癒着構造を暴く



かつて吉村は読売テレビ「たかじんのそこまで言って委員会」制作会社の顧問弁護士であった。そしてタレントの故やしきたかじんは「在阪メディアの帝王」と呼ばれた人物でその取り巻き連中が在阪テレビ局に多数。2010年に橋下徹知事（当時）が大阪維新の会を立ち上げて、最初の地方選挙に打って出たのが11年4月。府議会、市議会への立候補者を探していた橋下に「ええの、おるで」とたかじんが紹介したのが吉村だった。その後の吉村は14年に衆議院議員に転身、15年9月に大阪市長選に立候補するため議員辞職を表明。すぐに辞めずに10月1日付で辞めたため、わずか1日の在職で100万円の「文通費」をもらってから大阪市長に。その後、松井とのクロス選挙で知事になり、現在に至る。

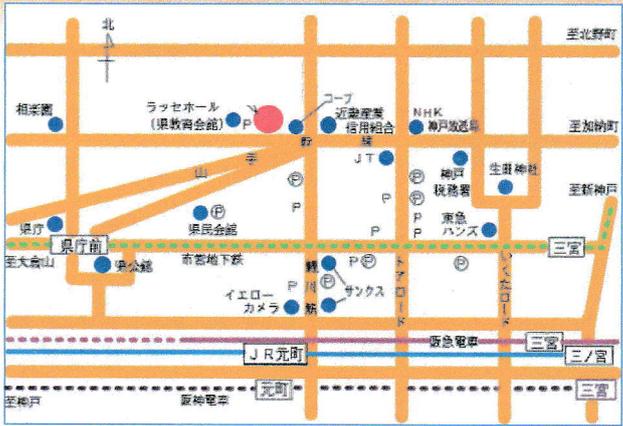
なぜ在阪メディアは吉村を持ち上げ続けるのか？なぜ吉村が吉本新喜劇に出演したのか？ 在阪メディアと維新、吉本興業の癒着の構造を暴く。（文中敬称略）



フリージャーナリスト
西谷 文和

2022年 **1/30** 日

午後1時半より ●参加費 1000円(学生500円)
神戸市教育会館ホール



レンガ色の建物が目印

主催：NHK とメディアを考える会（兵庫）

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-5-7 神戸情報文化ビル 3F 文化村 電話 090-5054-7171